

京都芸術劇場ニュースレター

募集中!

【京都芸術劇場友の会 会員】

《京都芸術劇場友の会》では、劇場の活動をより知っていただくため、会員の皆様に公演の詳しい情報をいち早くお知らせし、また、チケット割引や先行販売を通じて、少しでも快く劇場をご利用いただけるようサービスを行っております。ご用意できる特典はさまざまですが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【会員特典】

- ① 情報誌「京都芸術劇場ニュースレター」(年3回)や公演チラシを定期的にお届け!
- ② 京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話・オンラインストア)で会員番号によるチケット予約、1公演お一人様4枚(公演により異なる)まで割引料金にて購入可能!(公演により、予約・割引のない場合、窓口・電話のみの対応の場合もございます。)
- ③ 当学主催公演など、会員限定の先行販売あり!
- ④ 春秋座、studio 21で行われる公開講座、公開シンポジウムなどのご案内!
有効期限は入金日より1年間です。更新毎に年会費(2000円)をお納めください。

【入会方法】

Case 1. 劇場チケットセンター窓口にてお申し込み(窓口受付/月~金 10~17時)

Case 2. 郵便振替にてお申し込み

劇場郵便口座へ年会費2000円をお振込ください。

郵便局で青色の振込用紙にご記入ください。(振込み手数料別途100円程かかります。)

【口座番号】 00970-7-176517 【加入者名】 京都造形芸術大学 京都芸術劇場

【通信欄】 ①友の会 新規入会 ②お名前(フリガナ) ③生年月日 ④FAX(あれば)

【ご依頼人】 お客様の住所・氏名・電話番号(わかりやすい字ではっきりとご記入ください。)

【友の会感謝デー】開催決定!

10月1日(土) 14:00、恒例となりました友の会会員様限定の会を春秋座にて開催いたします。普段ご覧いただけない劇場バックステージのツアーや、劇場関連グッズが貴重な品々が当たる抽選会を予定しております。

会員の皆様には、詳細やお申し込み方法を後日、お知らせいたします。

【オンライン会員】

登録無料! 24時間ご予約可能! 選べる受取・お支払い方法!

公演情報をメールでお知らせ!

詳しくは、オンラインチケットストア(右記)へアクセス下さい。

(友の会にご入会いただくと、自動的にオンラインに登録いたします。)

劇場へ行ったら、ここにも行く

観劇のお帰りに、開演までのお時間に。大学にある劇場ならではのお楽しみ。

【能楽堂・楽心荘のある松鱗館の屋上】

瓜生山の自然に抱かれた京都造形芸術大学。秋は観劇の合間に紅葉を愛でいきませんか? 白川通に面した大階段を上った奥、至誠館のエレベーターで屋上へ出て、さらに右へ。能楽堂・楽心荘のある松鱗館の屋上からは京都御苑や下賀茂神社、赤黄に色づいた嵯峨野から北山の山並みが見渡せ、おすすめです。



チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター

tel. 075-791-8240

営業: 平日10:00-17:00・公演開催日

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

京都芸術劇場 春秋座・studio 21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

tel. 075-791-9437 fax. 075-791-9438

URL: <http://www.k-pac.org/>

E-mail: k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp

京都芸術劇場ブログ

<http://www.kyoto-art.ac.jp/blog-theater/>



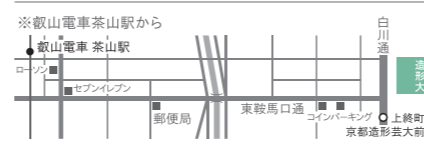
劇場モバイルサイト

オンラインチケットストア

<http://www.k-pac.org/ticket.html> (パソコンから)

<http://www.k-pac.org/theatre/m/m> (携帯から)

※オンラインでの取り扱いがない公演・券種もございます。



●JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

●京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204循環に乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

●京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの
ご来場はお断りします。

発行/編集 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
デザイン 吉羽 一之(シンプルホープ)

京都芸術劇場ニュースレター

vol.20 発行日—2011年10月1日

特集

越境する伝統—韓国舞踊の場所から

「金梅子の仕事」

「遠くへ誘う深い息~金梅子のダンス」 山田せつ子—1P

加藤健一事務所 VOL.80

音楽劇「詩人の恋」

加藤健一さん・畠中洋さんインタビュー—2P

「剣幸 kohibumi concert in KYOTO」

元宝塚トップスターの美しい朗読と歌のコンサート—2P

KYOTO EXPERIMENT 2011 京都国際舞台芸術祭

今年も開幕。春秋座では2公演上演決定! —3P

ジョナタン・カブドゥヴィエル

「アディシャッツ/アデュー」

トランスジェンダーのゆらぎめぐるパフォーマンス—3P



写真: キム・ジュンマン

12月10日(土)・11日(日) 14:00

●公演情報の詳細は▶P.5

越境する伝統—韓国舞踊の場所から

キム・メジヤ

「金梅子の仕事」

遠くへ誘う深い息~金梅子のダンス

金梅子氏の豊かで広がりのあるダンスを観ていると、その深い息に乗って、遠くに運ばれていく気持ちがします。

12月10、11日に「越境する伝統—韓国舞踊の場所から 金梅子の仕事」が春秋座で行われますが、韓国舞踊の伝統的技法を基にした創作舞踊の仕事をしている金梅子氏は戦後、韓国舞踊現代化の先駆けとなった方です。

アジアの舞踊シーンでは、それぞれ民族が固有に受け継いできた思想、形、呼吸、熱は何にも置き換える事のできない深さを持っています。西洋のダンス技法がめざましいスピードで取り入れられる一方、伝統的に積み重ねられてきたものにこだわる舞踊家は、その深さに更に瑞々しく生きる呼吸を吹き込みたいと願い、創作に挑む、金梅子氏はそのような仕事をしてきたと思います。

早くから、創作作品の公演を世界各地で行う一方、梨花女子大学の学生だけでなく、若手舞踊家、美術家、詩人、評論、音楽家に対しても実験的な作業をおこなう機会を数多く提供し、韓国での新しいダンスの発生を助けてきました。1980年代、チャンムチュントウという彼女が主宰した小劇場で、若者たちが日々繰り広げる実験の場に、深い感動を覚えたことを思い出します。

また、日韓の文化交流がまだまだ難しい時代に日本の舞踏をいち早く紹介し、ご自身も厳しい風を受けながら日本の神社での舞踊公演を実現しました。

今回、金梅子&チャンムダンスカンパニーのダンスを十分に堪能しながら、翌日のシンポジウムで互いの文化の違いや、共有できる意識をあらためて見つけ出す時間を、皆様とともに持ちたいと思います。

山田 せつ子

(舞踊家/舞台芸術研究センター主任研究員)

ミュージカルでもオペラでもない。
物語と台詞、音楽と歌声が織り成す
美しくも力強い旋律を

加藤健一事務所 VOL.80 音楽劇「詩人の恋」

美しいシューマンの音楽にのせ、人種や政治、歴史、芸術などシリアスな話題を含みながらユーモアで心打つセリフが印象深い2人芝居『詩人の恋』。マシユカン教授役の加藤健一さんと、スティーン役の畠中洋さんにお話を伺いました。



――加藤健一事務所は、加藤さんお一人で脚本からキャスティング、演出、照明、美術など全てプロデュースするというユニークな劇団ということでも知られていますね。

加藤 そうですね。一番大変なのは本選び。それから台本を選んで役者さんにオファーをして、スタッフさんを集めてという普通のプロデューサーの仕事しながら主演をしているということですね。あ、ついこの間、加藤健一事務所の100本記念でした。ですから『詩人の恋』が101本目ですね。――脚本を選ぶポイントは何かですか？

加藤 とにかく自分が感動した作品を舞台に上げたいということですね。自分が感動する作品に出会うまで本を読み続けるんですけども、年3本やるうちの1本は大体、再演ですので、2本の新作を見つけるまでに200冊ぐらいは読み続けますね。つまり100本に1本ぐらい、すごく感動する作品が見つかるという感じ。それで涙を流しちゃったとか、読んでいて笑っちゃったとか、鳥肌が立ったとか、大感動した作品を舞台に上げていくのですけれどね。

『詩人の恋』はものすごく感動したんです。でも、やらないって。私はストレートプレイの役者なので、歌なんてやったことがないのに、この役はウィーンの声楽の教授という役なんです。それは無理だと思って。ストーリーはものすごく面白いんだけど。でも、何年かに一度、読み返していて、「うーん面白いのに悔しいなあ。もういいや。歌はちょっと目をつぶってもらってやっちゃおう」って思ったんです。で、一年ぐらい声

楽の練習をして舞台上げちゃったんですね。そうしたらすごく評判は良かったんですけども、やっぱり歌は1年ぐらいじゃ全然ダメで。以来、声楽を勉強しているんですよ。今度、見て下さる舞台は9年目の成果です。

畠中さんは、ずーっとミュージカルをやったけれど、この舞台では歌が上手くないという設定なので下手に歌うのが難しいらしくて。ちょっと手を抜くとすぐに上手くなっちゃうのですねとか下手にという(笑)。

――『詩人の恋』の戯曲を読まれた時に、スティーン役は畠中さんで行こうと、すぐに決められたのですか？

加藤 上演を決めた時、すぐ畠中さんに決めましたね。以前から音楽座でずっとミュージカルをやっていたらして、その舞台を見ていたものだから、すぐにお願ひして、オッケーをいただきました。

畠中 (恐縮する)

加藤 もう、あれから8年になりますね。他の芝居も出ていただいています『詩人の恋』はもう8年目のペアですね。

――畠中さんはナチスの強制収容所・ダッハウにも行かれたそうですね。

畠中 ダッハウは2幕の頭でスティーンが長セリフをしゃべるのですけれども、本当にあの通りのものでしたね。初演時はまだ行ってなかったんですけど、想像でしゃべると、実際に見たものを思い出しながら話すのでは、こんなに違うのかと思って。やっぱりそこに自分の中のリアリティというのがあるんですね。目を背けたくないような写真もいっぱい展示されていて。自分の目で見て感じて来られたというのは本当に大きなプラスになっていますね。

――マシユカン教授が芸術家というのはこういうものだというのを示唆する場面がありますが、芸術を学ぶ学生たちに伝えたいことはありますか。

加藤 私たちは生身の人間ですから、有名になってお金持ちになりたいというのが。あと〈芸術欲〉というのがあって、これは神に近付きたいというのと似ている、どこか知らないところにふっと近付きたいと言うか、キューズの衣に触れたいとかね、そういう感じと似ているところがあると思うんです。ずっと強く持たなくてはいけないのは、この〈芸術欲〉の方で、それは「何かに触れたい、触れたい」とずーっと思い続けて生きていくこと。それを忘れたら、もう芸術家ではないんですね。だから一点を見つめていて、お金や名声は後から付いて来る、来てほしい

と(笑)、そういう思いでやっていかないといけないですね。長い間やっていくとね、どこを見つめて生きて行ったらいいのかわかって悩む時がある。もっと仕事ないかなとかね。そんな時、自分の志と違った仕事があると、フィツとそっちの方を見てしまったりするんですよ。気をつけないと、そっちを向いて戻れなくなるんです。そこを注意して生きていくことが大切ですね。

畠中 マシユカン教授のセリフで「この内側には心というものがある。そいつを働かせろ」っていうのがあります。僕の役は神童と言われて、ある程度の年まではテクニックで補えたのに、何か足りないと言われ始めていく。テクニックに溺れるんじゃないかって、芸術は人の心に触れることが大切ですよ。一番、心が揺り動かされるのは、ここが(心臓を指して)ある時のお芝居だったり、歌だったりする。そういうものは、ああいなくて思えるので、僕もこの先ずっと俳優という職業をやって行く上で、ぜったい忘れちゃいけないと思いますし、芸術をやっていたらやる方だったら、絶対、忘れちゃいけないんじゃないかなって思うんですよ。

――『詩人の恋』の見どころは？

加藤 芸術家2人のぶつかり合いの芝居なので、芸術を目指している人は面白いと思います。特に音楽を目指している人は、この芝居を見てロビーでずっと泣いていて動けなくなっちゃったりして、何ステージもやっているのですけれども、いつもスタンディングオベーションがあるので、それぐらい芸術家じゃなくても感動して下さるので、ぜひぜひ、楽しみにしてください。

畠中 歌もあって、美しいシューマンの音楽があって、そして2人のぶつかり合い。人と人がぶつかり合いながら、寄り添っていく過程がものすごく見事だと思うので、そういう部分も注目していただきたいなと思います。

本当にこんな作品に出会えて演じられることに、すごく幸せを感じているんです。だから役者が舞台上でハメをはずして、楽しんでいる姿を客席から楽しんでもらいたいんですね。俳優の友達が見に来て、みんな本当に悔しがって帰っていきますよ。「いいなあこんな作品と出会えて」って。それぐらい僕の中では宝物のような作品なので、本当に面白いのでお友達をお誘いになって見に来てください。

インタビューの本編は京都芸術劇場HPにて連載中。
<http://www.k-pac.org/>
プロフィール、あらすじなども合わせてご覧ください。

11月5日(土) 14:00

●公演情報の詳細は▶P.4

●予定曲目――
「ビー・アワ・ゲスト」「テネシーワルツ」
「やっぱり好きやねん」「恋人になって」
「世界に一つだけの花」「翼をください」「心の瞳」、他
●恋文 朗読予定作品――
「母・あぐりの渾への手紙」／吉行あぐり
「うさぎのミミリー」／メジロの来る庭／庄野潤三
「キミに残す手紙」／テレニシ見子 他、
「届かなかったラブレター」／60歳のラブレター
「日本一短い手紙」シリーズ、他

※曲目・朗読は内容が変更する可能性があります。ご了承下さい。

元宝塚トップスター剣幸の美しい朗読と歌のコンサート

剣幸 kohibumi concert in KYOTO

11月12日(土) 14:00

●公演情報の詳細は▶P.4

元宝塚・月組男役トップスター剣幸による様々な恋文の朗読とそこからイメージされる歌のコンサートです。2005年の富山初演から東京、山形、兵庫と各地で好評を博してきたこの公演がついに京都にやってきます。剣幸が伝える感情あふれる言葉の数々を、世代を越えて愛される名曲とともにお贈りします。老若男女どなたも楽しめるコンサートにご期待ください。



ピアノ/吉森 信

11 november 2011

14日(月) 16:30 公開連続講座・後期⑤
◆春秋座
日本芸能史「常磐津」 実演：常磐津都菑蔵・常磐津都史

21日(月) 16:30 公開連続講座・後期⑥
◆春秋座
日本芸能史「煎茶道」 理論：小川後楽

27日(日) 13:00
◆春秋座

バルコ・プロデュース公演「猟銃」

原作：井上靖
演出：フランソワ・ジラルール
出演：中谷美紀、ロドリグ・プロト
文豪・井上靖の恋愛小説「猟銃」が日本×カナダの合作で舞台化！
一人の男を通じて描く三人の女のラブ・ストーリー。

【発売中・全席指定】
一般 7350円 学生&ユース席 5880円(座席範囲指定あり)

T-C ぴあ e+ L-T CN

28日(月) 16:30 公開連続講座・後期⑦
◆春秋座
日本芸能史「日本の建築」 理論：諏訪春雄

12 december 2011

5日(月) 16:30 公開連続講座・後期⑧
◆春秋座
日本芸能史「華道」 実演：池坊由紀

公演・シンポジウム/主催公演
10日(土)・11日(日) 各14:00
◆春秋座
舞踊公演+シンポジウム
◎特集▶P.1

越境する伝統―韓国舞踊の場所から
「金梅子の仕事」

10日：舞踊公演
「サルプリ」、「チュンボムⅡ(群舞)」、「舞、その神明」、「光」(演奏：土取利行)

11日：シンポジウム(同時通訳あり)
金梅子(舞踊家)、チェ・ヒョン(舞踊評論家/釜山大学教授)、イ・ジヒョン(舞踊評論家)、渡邊守章(京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長・教授)、山田せつ子(舞踊家/京都造形芸術大学舞台芸術研究センター主任研究員)、竹田真理(舞踊評論家)、八角聡仁(批評家/近畿大学教授)、森山直人(批評家/京都造形芸術大学舞台芸術学科教授)

■10日 舞踊公演【10月4日発売・全席指定】
一般 3000円 友の会 2500円 シニア 2700円
学生&ユース 1500円 瓜生山学園生 1000円(劇場窓口のみ)
T-C ぴあ OTS

■11日 シンポジウム【10月4日受付・全席自由】要申し込み・無料
電話・FAX・メール、または劇場HPより申込。1.氏名 2.人数 3.連絡先(電話番号/メールアドレス)をお知らせください。メールでのお申込みの際には、件名を【韓国舞踊シンポジウム】とご記入ください。
◎FAX: 075-791-9438 ◎E-mail: k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp
T-C 劇場HP

T-C 京都芸術劇場チケットセンター OTS 劇場オンラインチケットストア ぴあ チケットぴあ―<http://t.pia.co.jp> TEL.0570-02-9999 e+ イープラス―<http://eplus.jp>
新聞 京都新聞文化センター(京都新聞社1F)―TEL.075-256-0007(10-17時 ※土・日・祝除く) KBS KBS京都事業部―TEL.075-431-8300(10-17時 ※土・日・祝除く)
音協 京都音協プレイガイド―TEL.075-211-0261(10-18時30分 ※日・祝除く) 生協 京都、滋賀各大学生協プレイガイド L-T ローンチケット CN CNプレイガイド

*記載のないものについての開場は開演30分前 *特に標記のない場合、前売と当日は同じ料金 *ユースは25歳以下、シニアは60歳以上対象 *学生・ユース・シニアは身分証明書提示

12日(月) 16:30 公開連続講座・後期⑨
◆春秋座
日本芸能史「道具」 理論：藤浪小道具

13日(火) 18:00
◆春秋座

公開レクチャー・シリーズ 劇場の記憶―舞台芸術の半世紀 後期
第二回《語り》の普遍性について―フランス古典主義悲劇の場合
主としてラシヌ悲劇『フェードル』を取り上げ、日本の伝統演劇の根幹にある「語り」を、現代の演劇作業に如何に取り返し、活性化させるかを探る。両氏による実演付き。
講師：渡邊守章、後藤加代(女優)
【受付中・全席自由】 無料(要申込) T-C 劇場HP

ミュージカル/主催公演
17日(土) 14:00
◆春秋座

原作 山口瞳(エッセイ・ミュージカル) 監修 山口正介
「江分利満氏の優雅な生活」―昭和の日本人―



直木賞を受賞した山口瞳の代表作「江分利満氏の優雅な生活」を原作に、数々のミュージカルを手がけてきた竹邑類の演出、山口瞳の息子・山口正介監修により、『昭和の日本人』として上演。昭和の酒場を舞台に米米CLUBのジェームス小野田が愚痴を吹きながら、昭和の哀愁と自由さ、それゆえの優雅さをユーモアたっぷりに演じます。
※上演前にプレトークあり

【発売中・全席指定】
一般 5000円 友の会 4000円 シニア 4500円
学生&ユース 1500円(限定200席)
T-C OTS ぴあ e+ 新聞 KBS 音協 生協

19日(月) 16:30 公開連続講座・後期⑩
◆春秋座
日本芸能史「小唄」 実演：春日とよ子(聞き手：田口章子)

卒業公演
11月25日(金) 18:00/26日(土) 11:00, 14:30 演劇/studio21
※開場は20分前、25日終了後アフタートークあり

ポイント 視力A
無料(予約優先) ◎問い合わせ：090-4675-3396(石井)

12月13日(火) 18:30/14日(水) 12:00, 19:30 ダンス/studio21
/15日(木) 12:00 ※13日終了後アフタートークあり

mitubeni Un Intervalle
無料 ◎問い合わせ：090-6193-1582(松本)

12月23日(金) 14:00, 18:00/24日(土) 11:00, 14:30 演劇/studio21
居留守「わたし」のいるところだけなにもない。
無料(予約優先) ◎問い合わせ：090-5223-6786(コンノ)

KYOTO EXPERIMENT 2011 京都国際舞台芸術祭

10月 ●公演情報の詳細は▶P.4

10月10日(月・祝) 14:00

笠井勲新作

「血は特別のジュースだ。」

「言葉が血肉となり、その身体こそが作品となる」

日本の古代史『古事記』に描かれた黄泉の国をモチーフに、ダンスの始源に迫る衝撃作！



世界に舞踏の名を知らしめ、現在も第一線で活躍する笠井勲が、『花粉革命』で衝撃を与えた春秋座の舞台に、8年ぶりに戻ってきます。1960年代に若くして土方巽、大野一雄と親交を深め、数多くの舞踏公演を行うと同時に、「天使館」を主宰し、山田せつ子や山崎広太はじめ多くの舞踏家を輩出してきた笠井。現在に至るまで50年もの間トップランナーとして走り続ける“怪物”の新作は、日本の古代史『古事記』に描かれた黄泉の国がモチーフ。「言葉が血肉となり、その身体こそが作品となる」というダンスの始源に迫る衝撃作。

新作/日本初演 構成・演出・振付：笠井勲

出演：笠井勲、笠井禮示、寺崎礁、定方まこと、鯨井謙太鮑、大森政秀

トークゲスト：萩尾望都(漫画家)

KYOTO EXPERIMENTは京都国際舞台芸術祭実行委員会(京都市、京都芸術センター、公益財団法人京都市芸術文化協会、京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター)が主催する、国際舞台芸術フェスティバルです。今年も京都を含む国内からのアーティストによる8演目に加え、アメリカ・ブラジル・ドイツ3カ国/地域からそれぞれ1演目、合計11演目の公式プログラムを紹介。春秋座では注目の2公演を開催します。また、若手演出家によるフリンジ、レクチャー・フォーラム・ワークショップ・展覧会といった関連イベントもますます充実し、さまざまな角度から舞台芸術の魅力に触れられる絶好の機会となるはずです。

10月16日(日) 13:00/17:00 ※17時開演の回終演後、ポスト・パフォーマンストークあり

石橋義正(キュピキュピ) / 京都創生座 番外編

「伝統芸能バリエブル」

エロティックでキッチュな才能

「キュピキュピ」×伝統芸能に生きる女たち、京都でしかありえない奇跡的邂逅！



新作/世界初演 演出・構成：石橋義正(キュピキュピ) 長唄監修：杵屋勝七郎

出演：ダンサー-高原伸子、高橋千佳、皆川まゆむ

パフォーマンス(映像)-青木涼子、能楽-鷲尾世志子、立花香寿子、鶴澤光、高橋奈王子、日本舞踊-尾上京、花柳双子、長唄三味線-杵屋勝次、杵屋勝浩菜、杵屋浩扇、上七軒さと幸、浪曲-春野恵子、一風亭初月、和太鼓-田原由紀、大谷加奈子、依田美津穂、小林杏里、井上朋美(打打打 天鼓)

昨年のアヴィニオン演劇祭でも注目を集めた衝撃作！

ジョナタン・カプドヴィエル 「アディシャッツ/アデュー」

11月3日(木・祝) 15:00

●公演情報の詳細は▶P.4

歌は、この若者の表現手段であり、時間とともに、彼のオブセッションや、激しい心の動き、ある種の郷愁を明らかにしていくー



若手の「女装独り芝居」とでも言ったらよいような『アディシャッツ/アデュー』。仕掛けとしては「物真似芸人」を志しているゲイの若い役者が、自分の欲望の対象でもあり、それ以上に、そのようなものとして男に愛されたいという「エロスのアイコン」を核とした「女性同一化のファンタズム」の展開である。

しかしこの作品の「味噌」ともいうべきは、そうした性的幻想を歴然と踏まえた「女性像」が、

世界的なポップス歌手マドンナやレディー・ガガであることで、彼女らのヒット・ナンバーを次々と「アカペラで[伴奏ナシで]」メドレーしつつ、彼自身のエロスのファンタズムを舞台空間にちりばめていく。

まだ少年のような面影を残す前半部から、後半部は、「おだまりの」と呼んでもよい「女装ショー」に変わるわけで、「性差の揺らぎ」を、役作りのレベルで顕在化させるのである。

男女の自然的性差しか認めようとししない19世紀型ブルジョワ社会は、フランスでも消え去ったわけではないから一社会党のパリ市長が、カムアウトしたゲイであるというような表象は、日本ではそもそも受け入れられ得ないだろうし、PACという配偶者法は、ゲイのカップルにも適用されているわけだから、日本とは事情は大いに異なる。しかしそれでも、ゲイに対する偏見や憎悪は、隠然として社会の深層に生き続けていて、傷害事件も絶えることはないようだから、この『アディシャッツ/アデュー』のような舞台の挑発性が減少しているわけではない。

渡邊守章(舞台芸術研究センター 所長・教授)
京都芸術劇場ブログより抜粋



ジョナタン・カプドヴィエル
Jonathan Capdevielle

1976年フランス・タルブ生まれ、パリ在住。93年から96年にかけてタルブで演劇を学んだ後、フランス国立高等人形劇芸術学校に入学。ジゼル・ヴィエンヌ振付・演出作品に多数参加しており、昨年春秋座で上演した『こうしておまへは消え去る』(Kyoto Experiment 2010公式プログラム)にも出演。2007年8月、ベルリンの八月ダンス・フェスティヴァルにて自身初のソロ・クリエーション『アディシャッツ/アデュー』へとつながる『Jonathan Covering』を初演、本作は09年11月モンペリエ国立振付センター(ラングドック=ルシヨン)で初演ののち、10年アヴィニオン演劇祭で上演されている。

10

october 2011

シンポジウム／主催公演

2日(日) 14:00開演

◆春秋座

シンポジウム「日本文化と〈性〉」

田口章子教授を中心に 2009 年に発足した「京都のくわと芸能研究会」。今回は4つのテーマの専門家をお招きし、座談を通して限りなく学術的に〈性〉をとらえ、日本文化全体の本質に迫ります。

●パネリスト

- 「芸能・芸道」 諏訪春雄(学習院大学名誉教授)
- 「渡来人」 崔吉城(東亜大学人間科学部教授・広島大学名誉教授)
- 「絵画」 田中優子(法政大学社会学部教授)
- 「宗教・信仰」 鎌田東二(京都大学こころの未来研究センター教授)

●司会進行: 田口章子(京都造形芸術大学教授・舞台芸術研究センター主任研究員)

【発売中・全席自由】 500円 瓜生山学園生 無料

T-C OTS

講演・レクチャー

3日(月) 16:30 公開連続講座①

◆春秋座

日本芸能史「総論 芸能と芸道」

理論: 諏訪春雄

2011年度 公開連続講座「日本芸能史」
芸能と芸道

後期(全12回) 10月3日—2012年1月23日
毎月月曜日 16:30—17:50 会場/春秋座 受講料(全12回)/12000円
●お問合わせ 瓜生山エクステンションセンター Tel.075-791-9124

ダンス／主催公演

10日(月・祝) 14:00 ※ポスト・パフォーマンスストークあり

◆春秋座

KYOTO EXPERIMENT 2011 京都国際舞台芸術祭

●特集▶P.3

笠井 叡「血は特別のジュースだ。」

【発売中・全席指定】 ※〈高校生以下〉以外、当日券は+500円

一般 3500円 学生ユース 3000円 友の会 3000円
瓜生山学園生 2500円 高校生以下 1000円(前売・当日共)

T-C OTS ぴあ セブンイレブン店舗内マルチコピー機

京都芸術センター/KYOTO EXPERIMENT チケットセンター
(京都芸術センター2F Tel.075-213-0820)

パフォーマンス／協力公演

16日(日) 13:00/17:00開演

◆春秋座

※17時開演の回終演後、ポスト・パフォーマンスストークあり

KYOTO EXPERIMENT 2011 京都国際舞台芸術祭

●特集▶P.3

石橋義正(キュービュビ) / 京都創生座 番外編 「伝統芸能バリエブル」

【発売中・全席指定】 ※〈高校生以下〉以外、当日券は+500円

一般 3000円 学生ユース 2500円 高校生以下 1000円(前売・当日共)

T-C OTS ぴあ セブンイレブン店舗内マルチコピー機

京都芸術センター/KYOTO EXPERIMENT チケットセンター
(京都芸術センター2F Tel.075-213-0820)

講演・レクチャー

17日(月) 16:30 公開連続講座②

◆春秋座

日本芸能史「香道」

理論: 畑正高

バレエ／主催公演

22日(土) 14:00

◆春秋座

ロシア国立サンクトペテルブルク・アカデミー・バレエ

「ロミオとジュリエット」全2幕

【発売中・全席指定】

一般 8000円 友の会 7000円 シニア 7500円
学生&ユース席 2500円

◎親子券

一般・シニア1名につき、2名まで中学生以下1人3000円で一般席にてご覧になれます。

※お申込みは京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話)のみ



T-C OTS ぴあ e+ 新聞 KBS 音協 生協

講演・レクチャー

24日(月) 16:30 公開連続講座③

◆春秋座

日本芸能史「義太夫」

実演: 竹本源大夫・鶴澤藤蔵(聞き手: 田口章子)

11

november 2011

パフォーマンス／主催公演

3日(木・祝) 15:00

◆春秋座

ジョナタン・カブドゥヴィエル

●特集▶P.3

「アディシャッツ／アデュー」

【発売中・全席指定】

一般 2500円 友の会 2000円 シニア 2200円
学生&ユース 1500円 瓜生山学園生 1000円

T-C OTS ぴあ

演劇／主催公演

5日(土) 14:00

◆春秋座

加藤健一事務所 VOL.80

●特集▶P.2

音楽劇「詩人の恋」

【全席指定】

一般 5000円 友の会 4000円 シニア 4500円
学生&ユース 1500円(限定200席)

T-C OTS ぴあ e+ 新聞 KBS 音協 生協

講演・レクチャー

7日(月) 16:30 公開連続講座・後期④

◆春秋座

日本芸能史「日本画」

実演: 千住博

レクチャー／主催公演

8日(火) 18:00

◆春秋座

公開レクチャー・シリーズ 劇場の記憶—舞台芸術の半世紀 後期

第一回 現代における創作能の意味

京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長・教授の渡邊守章がこれまで手がけた『冥の会』での『メーデー』、実験的「能ジャンクション(當麻)」、創作能『内濠十二景、あるいは《二重の影》』『薔薇の名一長谷寺の牡丹』などを取上げ、創作能の現場との関わりの軌跡を語る。

講師: 渡邊守章 聞き手: 木ノ下裕一

【受付中・全席自由】 無料(要申込)

T-C 劇場HP

コンサート／主催公演

12日(土) 14:00

◆春秋座

「剣幸 kohibumi concert in KYOTO」

●特集▶P.2

【全席指定】

一般 4000円 友の会 3200円 シニア 3600円
学生&ユース 1000円(限定200席)

T-C OTS ぴあ e+ 新聞 KBS 音協 生協

T-C 京都芸術劇場チケットセンター OTS 劇場オンラインチケットストア ぴあ チケットぴあ—http://t.pia.co.jp TEL.0570-02-9999 e+ イープラス—http://eplus.jp

新聞 京都新聞文化センター(京都新聞社1F)—TEL.075-256-0007(10-17時 ※土・日・祝除く) KBS KBS京都事業部—TEL.075-431-8300(10-17時 ※土・日・祝除く)

音協 京都音協プレイガイド—TEL.075-211-0261(10-18時30分 ※日・祝除く) 生協 京大・滋賀各大学生協プレイガイド L-T ローンチケット CN CNプレイガイド